



伊能 敏雄 議員



二次元コードからスマホで質問内容が見られます。

香取市の取り組みは大丈夫か

人口減少社会と一部過疎地域指定

Q 市の一部過疎指定に対する基本的考えは。
A 令和4年11月に香取市過疎地域持続的発展計画を策定し、過疎対策事業費を最大限活用しつつ持続可能な地域社会の形成と地域資源を活用した地域活力のさらなる向上の実現を目指しています。また、過疎地域最大の課題である人口減少対策は、令和5年3月に第3期香取市まち・ひと・

し」と創生総合戦略を策定し、全庁一体で様々な取り組みを進めています。

Q 取り組み事業の主なものは。

A 競争力のある産業の育成と安定した雇用の実現プロジェクト、移住定住の促進と関係人口の創出・拡大プロジェクト、香取で産み、香取で育てる環境の整備プロジェクト、香取の魅力を活かした生活環境の向上プロジェクト、多様な人材が集う多文化共生社会の推進プロジェクト、時代の変化に対応した地域の創造プロジェクトの取り組みを進めています。

市内在住の外国籍者の実態

Q 技能実習生などの就業状況は。

A 労働局が公表した令和6年10月末時点の外国人雇用状況では、香取市を含めた1市3町を管轄する佐原公共職業安定所管内の外国人労働者数は、1574人、うち技能実習生は780人となります。

Q 外国籍の永住・定住・日本人の配偶者等は。

A 令和7年1月末時点の住民基本台帳上の人数では、在留期間が無期限となる永住者291人、5年3年等の一定の在留期間となる定住者65人、日本人の配偶者として滞在する外国人などである日本人の配偶者等82人となります。

Q 外国人の生活保護状況と市営住宅入居者数は。

A 香取市で生活保護を受給している外国人は、令和7年1月末現在で11人おり、その内訳は、高齢者世帯5人、傷病世帯4人、就労中の世帯1人、その他世帯1人となっています。市営住宅に入居している外国人は、7世帯で13人となります。

Q 外国籍児童生徒数と進路及びトータル等は。

A 外国籍児童・生徒の在籍が小中学校合わせて48名となります。このうち中学3年生全員が高等学校への進学を希望して受験をしています。トータル等の報告は特にありません。

Q 外国籍の乳児数は。
A 外国籍の乳幼児は18人となります。

高見 人口減少50%以上の過疎地域指定を受ける全国74自治体の中でも自然減のみならず社会減の対策が極めて必要な香取市。人口減少は日本全体の流れ。地方都市の過疎化は阻止できないが、働き手は必要。こうした状況下、若者のU・Iターンを促すなど、活力を取り戻す政策を打っていかねばならない。外国人就労者は必要だが、住民に不安を与える事ではない。

香取市を暮らしやすい街にするためのポイントはインフラ整備

Q 令和6年10月から「かこく」の実証実験が始まった。利用状況・評価は。

A 新たに運行を開始した「かこく」は区域運行とルート運行の二つの方式で運行しています。令和7年1月末現在834人の登録で、運行開始から1月末日までの利用者数は区域運行が延べ1126人、ルート運行が延べ2834人となります。評価は、交通事業者との協議に時間を要したこと、周知不足の中での運行開始でしたが、区域運行エリアでは、ラストワンマイル問題の解決に寄与する等の成果があったと認識しています。

Q 小見川大橋たもとの交差点の渋滞解消策はあるのか。

A 国道356号バイパス整備により、小見川大橋付近の渋滞が緩和されるよう、一般国道356号整備促進期成同盟を通じて千葉県へ事業の促進を要望していきたく考えています。

高見 現実性が難しい小見川大橋の架け替えよりも佐原香取・潮来インター間の無料化の方が現実味がある。大型車等が高速道路を利用することで、小見川大橋の流入量を減らすことができるので、一つの選択肢として要望します。



辻 達広 議員



二次元コードからスマホで質問内容が見られます。

誰でも使えるデジタル技術の導入と推進を

Q 自治体情報システムの標準化・共通化とは、市民にとってどのような恩恵があるのか。

A 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律等で定められた住民記録など20の基幹業務システムについて、国が定める仕様に合わせた標準準拠システムとすることで、住民の利便性の向上及び地方公共団体の行政運営の効率化を目的として進めています。

Q マイナンバーカードの普及率とオンラインでできる手続の数は。

A 令和7年1月末日現在、香取市の交付率は85.0%となっています。国では、地方公共団体が優先的にオンライン化すべき手続を定め、その中で29の手続を優先的にオンライン化するよう進めています。香取市では、このうち20の手続がオンライン化され、割合は69%となります。残りの手続もオンライン化を進め、令和7年度中には、全手続がオンライン化される見込みとなっています。

Q 書かないワンストップ窓口の導入は進んでいるのか。

A 現在、香取市の書かない窓口の第一歩として、令和7年度当初予算にマイナンバーカード申請書自動作成支援システムやらくらく窓口証明書交付サービスの導入に係る予算を計上しています。

Q 本庁と各支所をデジタル技術で結んで距離的平等性を確保する施策はあるのか。

A 本庁支所間をオンラインで結び、支所でも本庁と同等のサービスを提供できる仕組み等の研究を進めています。これは、住民サービスの向上と併せて、今後見込まれる事務の高度化、職員数の減少にも寄与できる取り組みと考えています。